

# 子どものインフルエンザ予防接種 市独自の補助制度を要望

これから寒い季節となり、インフルエンザの流行が心配されます。現在65歳以上の方には国制度でインフルエンザ予防接種への補助があり、1回千円で受けることができ、喜ばれています。しかし、子どもの予防接種にはこうし

た補助がないため、費用の負担が大変です。特に、13歳未満の子どもは2回接種が基本のため、1回2500円として、2回で5000円、兄弟で受けるで一万円にもなります。東京、広島などでは、子どものインフルエンザ予防接

種への補助を実施している自治体もあります。交野でもぜひ、子どものインフルエンザ予防接種に市独自の補助をしてほしいと要望しました。



# 財政健全化計画の見直しについて

さかの光雄議員が質問

【質問】市は今年8月、財政健全化計画の見直しをおこなった。当初の財政健全化計画(平成16年度から平成22年度まで)には、自民・公明政権の3位一体の改革が含まれていなかった。見直しに至った大きな要因としてあげられるのが、3位一体の改革である。地方財政切り下げの3位一体の改革は、市の財政にどの程度の影響を与えているのか

交付税を削減するものであり、全体で8兆円の削減であり、地方に大きな影響を与えている。市への影響金額の計算は複雑過ぎることと国の統一的な算定方法が示されていないことから算出するのは困難である。しかし、目安となる地方交付税と臨時財政対策債でみれば、平成16年度から平成22年度までで92億8千万円の減額となる。

体の地方財政切り下げがなければ、67億6千万円の黒字となっていた。市として全国市長会などを通じ、政府に対し、地方財政切捨ての転換を強く求めていただきたい。

【要望】今回の見直し計画では、平成22年度に収支を均衡にするための方策が示されている。その中で基金は、当初計画で8億8千万円残すことになっていたのが、上積みして15億円残す計画となっている。基金の上積み金額を減らし、子ども医療費助成の年齢引き上げや福祉などに回すべきことをとめる。

【答弁】国の3位一体の改革は、平成16年度から18年度の3年間で実施された。地方への補助金を削減し税源を委譲し、さらに地方

【要望】今回の財政健全化計画の見直しでは、平成22年度に実質収支で25億円2千万円の赤字とされている。自・公政権の3位一

# 交野市の新しい指定文化財の見学説明会

市教育委員会は、新しく3件の文化財を市指定文化財として、11月1日に指定しました。この見学説明会に参加した、さらがいふみ議員の感想を紹介します。

11月11日、歴史民俗資料展示室(倉治図書館横)に展示中の新しい市指定文化財の説明会に参加しました。南北朝時代(14世紀)につくられたという「阿弥陀如来立像」は、表情や形も大変美しい仏像で、見とれてしまうほど。また、「石清水八幡宮放生会絵巻」

は、大名行列をおもわせる緻密で立派な絵巻で、石清水祭として平安時代から現在まで続く祭礼のなかで、交野の森地区・私市地区の人々が重要な役割を担う姿が描かれています。これだけの文化財が、この交野の地につくられ、大切に守られてきたことは大変興味深く、今後これらの文化財をどう活用していくのか期待されます。

※新指定文化財は、歴史民俗資料展示室にて、11月30日まで展示中。



# 市政報告会

- 11月27日(火) 午後7:00~
- ゆうゆうセンター 2階 集団指指導

ぜひご参加ください!

